

北、核実験場廃棄へ

核兵器完成を明言

ICBM実験も中止

【北京＝城内康伸】北朝鮮は二十日の朝鮮労働党中央委員会総会で、核実験と大陸間弾道ミサイル(ICBM)の発射実験を二十一日から中止することを決めた。国営朝鮮中央通信が同日、総会の決定内容として伝えた。また、北部の核実験場を廃棄するとともに、朝鮮半島の平和と安定を守るために、周辺国や国際社会と緊密な対話を積極的に行うことも決定した。



「水爆」とみられる物体を視察する北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長（中央）。朝鮮中央通信が2017年9月3日に配信した＝朝鮮通信・共同

た。金正恩朝鮮労働党委員長は総会で、核兵器の完成により「いかなる核実験と中長距離弾道ミサイル、ICBMの試験発射も必要がなくなった」と表明。「社会主義経済建設に総力を集中することが党の戦略路線」と宣言した。二十七日の南北首脳会談と六月上旬までに予定される米朝首脳会談を控え、北朝鮮には非核化への「本気度」を示す具体的措置を発表し、会談を有利に進める思惑があるとみられる。